

お陰様で日本ライフ株式会社は設立 41 年を迎えました。皆様に心より感謝申し上げます。

さんけん

2015 No.55

平成 27 年 8 月 1 日発行

ネットワークニュース

発行人：三健ネット会会長 門馬 義芳 日本ライフ株式会社社長 門馬義幸

三健ネット会事務局 日本ライフ株式会社 東京都狛江市東野川 1-34-14

TEL03-3488-8700 FAX03-3488-9921 <http://www/nihonlife.co.jp/> Eメール:mail@nihonlife.co.jp

三健（さんけん）とは健士・健食・健民

三健ネット会は、人間の幸せは健康にありとの考えから、人みな健康で豊かであることを願い、「健康な士から健康な食物を、それを食して心身ともに健全な国民をつくる」を基本理念にしています。この理念を広く皆様にご提唱し、ご理解とご協力をいただき、普及によって健康と健全な社会、地球にやさしい環境づくりに貢献していきたいと願っております。

先人に学ぶ

三健ネット会事務局 門馬義幸

暑中お見舞い申し上げます

今年には国際土壌年です。持続的な食料安全保障を求める国際社会において、土壌に対する認識の向上と適切な土壌管理が経済成長や貧困撲滅に欠かせないという認識から国連総会で決議されたのです。

日本でも土壌劣化が問題になっています。では明治時代までの日本の農地はどうだったのでしょうか。アメリカ人の土壌学者、フランクリン・ハイラム・キング（1848-1911）は明治 42 年（1909 年）に半年にわたって、中国、朝鮮、日本を訪れ、各国の農業を視察しました。日本での滞在は 1 ヶ月ほどでしたが、その記述は多

岐に亘っています。ここでは紙数の都合もあり、日本での調査についてのみ書くことにします。なお、キングは土壌物理学の分野での研究に業績をあげたことにより、アメリカでは「土壌物理学の父」と呼ばれ、現在でもウィスコンシン大学マディソン校（本校）には「キング・ホール」として土壌学科の建物にその名が残されています。

キングが来日した当時の日本は人口が 5000 万人を超えていましたが、農家戸数が全戸数の 60%を超える農業国でした。キングは日本の農法を見て「われわれは、豊かな処女地をわずか三世代で疲弊させてしまうような農法の地[アメリカ]から、三十世紀にわた





フランクリン・
ハイラム・キング

る作物栽培の後にもなお肥沃な土を維持し続けている別の農法をとる土地に来たのだ。」と書いています。

日本の米作りは近年まで、有史以前から同じ場所で連作

障害もなく行われていました。この日本の水田地帯を見て、「今日わが国の南部や南東部諸州で見られるようなすさまじい土壌侵食の如きは、極東では何処たりとも許されていない」と驚嘆しています。キングは日本で行われている農業の調査を続けました。わずかな土地も無駄にせず、有効活用し、二毛作、三毛作を行い、水路の堤防には果樹を植え、水田のあぜで大豆を作り、前作の収穫前に後作の播種をすませるなど随所に工夫が見られることにも感心しています。さらに徹底した資源の利用やリサイクルにも強い関心を持ちました。日本における下肥の利用を見て、「彼らは人間の排泄物を土に返すが、われわれはそれを海に棄てる。彼らはそうすることで、成人 100 万人につき、1 日当たり 1 トン以上のリンと 2 トン以上のカリを植物への肥料として利用している」として、アメリカにおける資源の浪費を嘆いています。さらに家庭から出る草木灰、刈敷き（注）として使われる山野草、作物残渣も重要な養分源とし

て活用していることにも注目しています。

「中国、朝鮮、日本はとうの昔に永続的農業の基調を探り当てているが、今や彼らには、大きな改善を遂げることが可能で、またそれを実現する時節が到来している。そして、われわれアメリカ人やその他の人々にとっては、彼らの経験から学び、彼らのやってきたことの中から善きものを取り入れて応用すること、さらには新しくて進歩した農法を世界に導入する運動を促進することが、今後に残された課題である。・・・(彼らは) 土壌腐植と堆肥の給源として緑肥を輪作の中に組み込み、あらゆる廃物を敬虔なまでの忠実さをもって農地に返し、作物の持ち出した養分を補給している。これらの事実は、極東の民が(永続的農業の) 必須条件と基本原理とを把握していることを示しており、まさに西洋諸国民に沈思・再考をせまるものである。」(下線は筆者) 後年、キング夫人はキングの極東視察を「欧米におけるよりも古い土壌管理の方法が、何を成し遂げたのかを学ぶための巡礼の旅であった」と言っています。



20 世紀初頭までは日本は海外からの肥料を輸入することもなく、国内の資材で、農業を維持し続けた

のです。化学肥料を使う前の徹底した自然物利用とリサイクルの努力には見習うべき点多々あると思います。もちろん、化学肥料を否定しているわけではありません。化学肥料のおかげで収量は増大し、農産物を安定して供給できるようになりました。

現在では農地における微生物の重要性がわかってきました。私たちの祖先は微生物のことは知らなくても、微生物の餌や住み家になる有機物を農地に与え続けることによって、肥沃な土地を維持していたのです。化学肥料などの農業資材が高騰している現在、塩分の問題や異物混入の問題等がありますが、生ごみなどの資源を私たちの祖先と同じように利用すべきではないでしょうか。



なお、この文章を書くのにあたり、久馬一剛氏の『東アジア四千年の永続農業』(F. H. King 著/杉本俊朗訳)

の書評を参考にさせていただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

(注) 刈敷き：山野や畔などに生える草木の茎や葉を刈ってそのまま田畑に敷きこんで堆肥にする方法

変わり行くわが庭

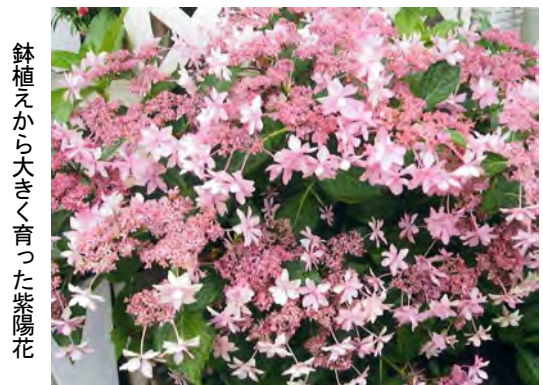
いつもアーゼロン・Cでお世話になっております。



4m以上に育った夾竹桃

6年前に家を建て、念願の庭も狭いのですが、作ってもらいました。それまではプランターや鉢で花やハーブなどを育て、楽しんでいました。

庭が出来、あれも植えたい、これも植えたいと気持ちが逸って思いつくまどンドン花木を植えてしまいました。50 cm程の夾竹桃の苗木が今では4 m以上の大木となって、沢山の白やピンクの花を咲かせてくれています。また、植木鉢で買った可憐な紫陽花も翌年地植えに移



鉢植えから大きく育った紫陽花

したら、3～4倍の大きさになって、今年は咲いています。これらもアーゼロン・Cで土作りをしているおかげだと思いました。

しかし、状況が一変しました。今年カーポートを設置することになり、猫の額ほどの狭い庭を半分以上削らなくてはならなくなってしまいました。さあ大変です。そこに植えていた木をあそこへ移し、あの木や花はどこへ移そうか……。てんやわんやの6～7月でした。

そして元のコンテナガーデン中心になってしまいそうです。迷惑なのは花達です。ゴメンナサイ。でも、いつも花の強い味方はアーゼロン・Cです。少ない注文で申し訳ありませんが、これからもどうぞよろしくをお願いします。

(町田市 K)

ミニトマト

今年はミニトマトをプランターで育てています。ゴールデンウィーク後に苗を購入して育てています。トマトは挿し木でもよく育つと聞いていたので、苗が40～50cm伸びたところで、脇芽を2本ほど伸ばし、その脇芽が15cmぐらいになったところで、切り取って、挿し木にしました。

プランターは650型(横幅650mm)を使い、

そこに2本植えました。土は再生土と培養土を使っています。再生土は昨年プランターに使った土に米ぬかとアーゼロ



ミニトマトは房状になります

ン・Cを入れて再生しました。再生といっても、衣装ケースにプランターの土をいれ、スコップでよくほぐし、小石を取り除き、アーゼロン・C(約100g)と米ぬか(約200g)を入れて、よく混ぜ合わせた後で、水分を加え、10日間ほど置いただけです。追肥はアーゼロン・Cを10日間～2週間ごとに与えました。再生土はプランター1つ分しかなかったので、後は市販の培養土を使つての栽培にしました。この場合も10日間～2週間ごとにアーゼロン・Cを与えています。プランター栽培でも一房に16個くらいになります。現在までに4本のミニトマトから数十個の収穫がありました。秋になっても収穫が続くことを願っています。

追伸：ミニトマトが採れすぎたので、皮を湯むきし、甘酢に漬け込みました。暑いこの季節、涼やかな一品となりました。日持ちもします。



羊を使った除草

地元ヒツジを使って除草をしているT農園があります。除草剤を使って、雑草を処理する方法もあれば、こうした昔ながらの自然体系に沿った方法での除草もあるのです。何とも心休まる風景でした。近所の親子連れの人たちも嬉しそうに見ていました。動物と人間が共存共栄していく素晴らしさを実感いたしました。

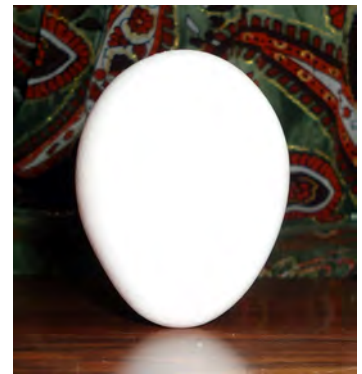
T農園のお知らせによると、国交省の「都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査業務」の一環として、狛江市と鹿島建設が共同で実施しているもので、ヒツジは3頭（コリデー種とサフォーク種）を使い、期間は7月上旬から下旬までです。



暑い中、一生懸命、お仕事？しています

さんけんニュース（4/1発行 54号）で掲載いたしました“たまご立て5個”の挑戦に引き続き、今回は更なる難度の「尖った方を下にして立てる」に挑戦してみました。

「立ちました！」感激のあまり、声も出ませんでした。「豚もおだてりや木に登る」で、前回ニュースをご覧ください。ありがとうございました。褒めの言葉をいただき、今回も頑張ることが出来ました。ありがとうございます。



ついに、その瞬間がきた！

皆様も是非、チャレンジしてみてください。成功したときの気持ちよさは言葉では表せません。

大内弓子

ちょっと付け足し

大内の卵立ては、真剣そのもので、鬼気迫るものであります。休憩中にチャレンジを始めると、社内は小声になりますし、歩く時も音をたてないようにしています。今回難解の尖った方が成功し、その頑張りをもめたいと思いますが、ある意味ホッとした感もあります（笑）。

暑い夏こそ

ニューダッシュロン!

先日、「ニューダッシュロンの色と香りが違うけど」とご質問をいただきました。ご心配をおかけして申し訳ございません。



ニューダッシュロンは季節ごと、また商品の効用を高めるために、原料の配合を変えてお

ります。品質には自信を持っておりますので、どうぞ安心してお使いください。ご質問いただきましたお客様よりお便りをいただきましたので、一部ですが、使い方をご紹介させていただきます。

私はものぐさなので、掃除もあまり手をかけたくありません。洗剤を使って家中ピカピカにしたいのですが、洗剤を拭き取ることを考えると……。でも、子供もいますので安心や環境も考えなくてはと思っています。

ニューダッシュロンは主に下駄箱と靴の臭いに使っています。玄関を入ると蒸れた臭いが嫌で芳香剤などを使っていましたが、混じり合っただけで変な匂いでした。ニューダッシュロンの使い方でも大雑把で、週一ぐらいに適当に薄めた液を靴もろとも下駄箱にスプレーしています。残り

はお風呂場の壁にシュツとして、最後は排水口に流します。

今度のニューダッシュロンの香りの方が私は好きです。この香りなら今までためらっていた（ごめんなさい）部屋にもスプレーできて、気持ちよく過ごせています。

今後とも末永くご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。

編集後記

会社から歩いて5分のところに、ヒツジを使って除草しているところがあるとは思いませんでした。ヒツジの草を食む姿に、しばし暑さを忘れて心が休まりました。
(YM)

「いつやるの？今でしょ！」の言葉が流行りましたね。今年はチャレンジの連続です。「チャンスは今」と思って、今日宝くじを買っちゃいました。夢(?)を持って生きるって嬉しいですね。
(YO)

引越し先の南側は畑が広がり、静かなところです。が、何を栽培しているのか最初分かりませんでした。約一カ月の間にグングンと生長し、何と2万本のひまわりでした。
(KI)



やはりひまわりは、夏の青空に、合いますね。